

OTO×NOMA

DTM講座

耳コピのノウハウ

今日の講義内容

- ① はじめに
- ② 耳コピに必要なもの
- ③ 耳コピの手順
- ④ 耳コピ力を上げる方法

はじめに

みなさん 耳コピは得意ですか??

世の中には耳コピがすらすらできる人と
なかなか上手くできない人がいる

一体何が違うんだろう??

はじめに

・筆者が耳コピできるようになった歴史

- ・ 幼少期

母親のクラシックピアノを聴いて育つ。家にピアノ、ギターなどがあり、物心ついた頃から、好きなアニメの曲のメロディを鍵盤上で探して弾いていた。

- ・ 10歳～

ゴダイゴが好きになりレコードを買い始める。
メロディ、ベース、オブリなどが耳で聞き取れたので壊れたテレコで多重録音を始める。

はじめに

- ・ 12歳～
ニューミュージックに興味を持ち、雑誌の付録の歌本や好きなアーティストの全曲集を買い、片っ端からコピーした。2年で200曲程度コピーしたかと思う。
- ・ 14歳～
ギターに関してはコードの流れに法則があることに気づき、次のコードの予測がつくようになる。日本の楽曲では物足りなくなり、洋楽をコピーし始める。

この頃にはもう楽譜がなくても耳コピがある程度は出来るようになっていた。

はじめに

筆者の自慢のようになってしまったが・・・
何が言いたいかというと？

重要なのは耳で聞いた音を、声や楽器で再現する。この「インプット」～「アウトプット」を膨大に繰り返す。最初は楽譜に頼っても良い。

この繰り返しが耳コピーに必要な耳の能力を養っていく。

耳コピーに必要なもの

・これがあれば耳コピーできる！

- ・ 音感、優れた耳
必須！ 耳コピー力を上げることは、この能力を鍛えることに他ならない。
- ・ 楽器演奏能力
必須ではない。 ただし、ギターなどでコードを弾いたり、聴きなれていることは、耳コピーには有利である。
- ・ コード理論の知識
必須ではない。 ただし、この知識があると、調やコードを見極めるときに予測がしやすくなる。

耳コピーに必要なもの

カクテルパーティー効果をご存知？

カクテルパーティーのように、たくさんの人がそれぞれに雑談しているなかでも、自分が興味のある人の会話、自分の名前などは、自然と聞き取ることができる。

このように、人間は音进行处理して必要な情報だけを再構築していると考えられる。この機能は音源の位置、音源毎に異なる声の基本周波数の差があることによって達成されることが考えられる。つまり、このような音源位置の差や基本周波数の差をなくした状態で、複数の人の音声を呈示すると、聞き取りは非常に難しくなる。

さらに音楽においても、オーケストラの演奏などにおいて、複数の楽器がそれぞれ別のメロディを奏でている時にも、特定の楽器のメロディだけを追って聞くことができるのも、同じ効果である

耳コピに必要なもの

つまり...

人間は多くの音の中から聴きたい音だけを聴き分ける能力を**生まれつき**持っている。

傾向として、人の声～メインボーカル、知っているor興味のある楽器の音は聞き取りやすい

耳コピに必要なもの

耳コピ便利グッズ

- mimiCopy (アプリ)
音程を変えずに曲のスピードを調整できるアプリ。



mimiCopy - 耳コピ専用プレーヤー (4+)

耳コピのためのミュージックプレーヤー

ART Teknika Inc.

iPad対応

「ミュージック」内7位

★★★★★ 3.7 • 117件の評価

¥610・App内課金が有ります

[こちらで表示: Mac App Store](#)

スクリーンショット [iPad](#) [iPhone](#)

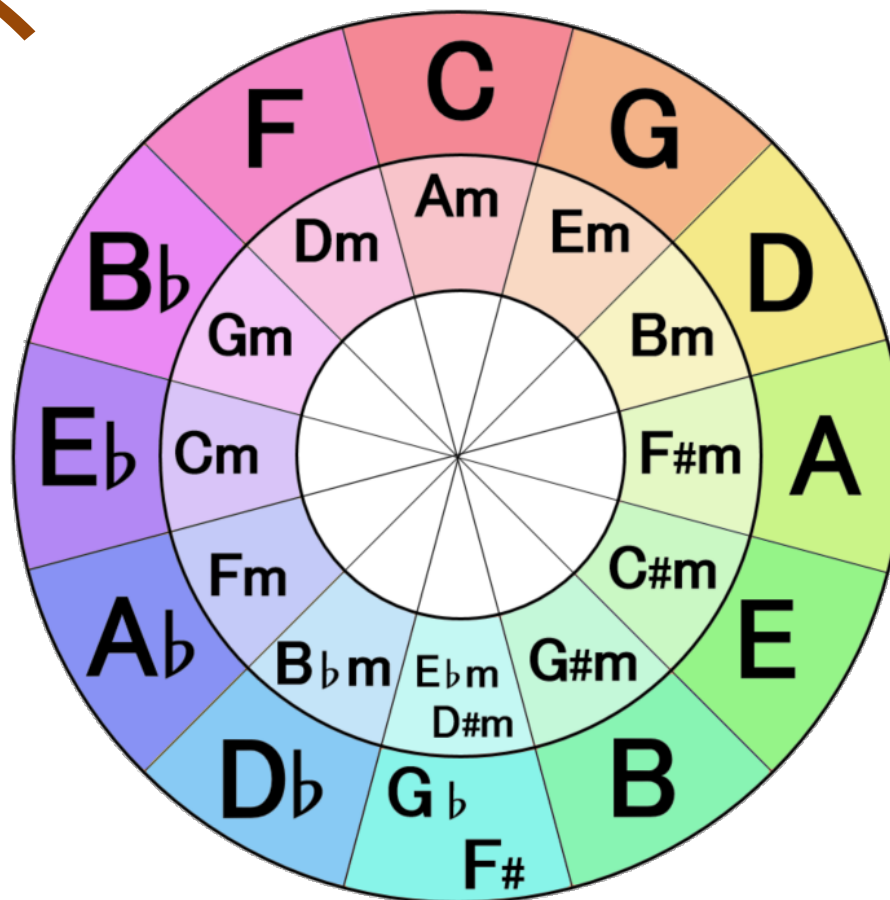


耳コピに必要なもの

耳コピ便利グッズ

・五度圏の表

使い方は後述



耳コピーの手順

前提条件

- ・ シンプルなダイアトニックコード中心の曲を選ぶ

ザックリいうと「スピッツ」「ゆず」みたいな
フォーク調の曲は比較的コード進行がシンプル
7～80年代の歌謡曲や最近の洋楽、K-POPもわりと
シンプルなものが多い。

ジャズやフュージョン、RnBなどは、コード進行が
複雑な場合があるので最初のうちは避けた方がよい

耳コピーの手順

前提知識

- ・ 調、メジャー／マイナースケール、ダイアトニックコード、セカンダリードミナントの知識はあった方がベター

前述のようなシンプルな曲を選んだ場合はダイアトニックコード7種類のうち、VIIIm7b5を除いた6種類が大半になる。

例外として、セカンダリードミナントと分数コードはよく使われる。曲によってはマイナーからの借用コードも使われる。

耳コピーの手順

① 聞く

耳を集中させ『響き』を聞き取る

② キーを判別する

楽器（声）を使いメロやスケールを弾いてみて
（歌ってみて）、半音の位置を目安にキーを確定する。

③ コードをコピーする

楽器を弾きながら、そのキーのダイアトニックコードを弾いて合いそうな物を選ぶ。ベース音や響きから推測すると効率がいい。

耳コピの手順

耳コピのハードル

- ・ **和音が聞き取れない**

歌や単音のメロが聞き取れるのに、なぜ和音は聞き取れないか？これも結局は慣れ。ここでつまづく場合は、いろんな曲を楽器でコピーしてコードで演奏し、和音の響きに慣れておこう。

それと、コードのメジャー／マイナーが聞き取れると判別しやすい。メジャー（明るい）マイナー（暗い）の違いにも慣れておこう。

耳コピの手順

耳コピのハードル

- ・ **ベースが聞き取れない**

これも慣れなのでベースを弾くもよし。そこまでじゃなくても、DTM音源でベースの音色にして、曲に合わせて弾いてみよう。コードとベースが合ってる時の低音の響き方を覚えていこう。

更に分数コードにした時の響きにも慣れておこう。

耳コピの手順

耳コピのハードル

- ・ダイアトニックコード以外が聞き取れない

ダイアトニック以外でよく出てくるのは、

- ・セカンダリードミナント
- ・分数コード
- ・マイナーからの借用コード

これらのコードが出たときに迷いやすいと思うが、これらも前述の部分に慣れておけば聞き取りやすい。

耳コピ^oの手順

実践 ① 聞く

例えば、、、発声練習を思い浮かべてみよう。
発声練習では伴奏に合わせて、コードの構成音を歌っている。

同じ感覚で伴奏、演奏に対して『構成音』をイメージしたり、前述のメジャー／マイナーの違いを意識したりして、集中して聞いてみよう。

耳コピーの手順

実践 ② キーを判別する

まず、マイナー曲かメジャー曲かを認識しよう。
メジャーの場合は「ドレミファソラシド」、
マイナーの場合は「ラシドレミファソラ」で
認識する。

歌メロで半音の箇所があればそれが「シド」若しくは
「ミファ」のどちらかになる。スケールを歌うか
弾くかしてみて判別しよう。慣れも必要だが、カラオケ
でキーを変えて歌うのと同じ理屈なので、一般的な
音感があれば分かるようになるだろう。

耳コピーの手順

実践 ③ コードをコピーする

判別した調のI～VI_mまでの6つのコードから、響きの合うコードを探そう。

その際、ベース音が聞き取れれば、すぐ正解にたどり着ける。ダイアトニック以外の場合でも、メジャー／マイナーの区別がつけば判断しやすい。分数コードの場合もルート以外がベースを弾いた時の響きを覚えていこう。

耳コピ^o力を上げる方法

①～③の手順は上手く出来ただろうか？

その人がこれまでどれだけインプット/アウトプットしてきたか？その結果どれくらいの音感が備わっているか？で結果も違うだろう。

ここでつまづく場合は、以下のことを実践すると良い。

耳コピ力を上げる方法

筆者は後追いで理論を勉強した派なので、理論を知らずとも耳コピは可能と思っているが、そのためには**膨大なインプット/アウトプットが必要**になる。

コード伴奏にも慣れておらず、音楽理論もいまいち自信がないという場合は、**コード理論の初歩的な箇所は勉強しておこう！**

耳コピ力を上げる方法

コードや流れの響きを覚えるまで
インプット(コピー)/アウトプット(演奏)を
繰り返そう。

この時にコード進行だけではなく**ディグリーで捉えて
欲しい。**

例えば C Am F G というコード進行に対して
I VI^m IV V と認識する。

耳コピ^o力を上げる方法

気に入った進行、覚えるべき進行をノートに書いてストックしておこう。

IV V/VI IIIIm7 VIIm7 等。

その進行をいろんなキーで弾いて、その『響き』を体に覚え込ませよう。

耳コピ力を上げる方法

色んなキーで弾く時に、五度圏の表を使うと移調がしやすい。

上の列がメジャーコード、下の列が同主調のマイナーコード。右に行くと五度上がる。＝左に行くと四度上がる。

I～VI_m の6つが扇状に並んでいる。

